

## 平成28年度 第2回 会津図書館協議会 会議録

日時：平成29年3月10日（金）10：00～12：10

場所：生涯学習総合センター3階研修室3 司会・成田

出席者

委員 6名出席

事務局 会津図書館長、図書館員主幹、副主幹

### 1. 会津図書館長挨拶

### 2. 会津図書館協議会委員長挨拶

### 3. 議事 質疑応答

#### (1) 平成28年度後期事業実施状況について

#### (2) 平成28年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価実施報告書について

委員：（協議会資料に）写真等が入り、分かりやすい報告だった。

委員：図書館事業が充実してきたと思う。ブックスタートから始まり、保育での読書につながる。さらに、ビブリオバトル等、乳幼児から小中高生まで広く子どもたちの読書活動を支援していると感じる。

委員：小学校によっては、毎週読み聞かせに来て欲しいという要望があるが、対応しかねる場合がある。地域の学校ボランティアが育って欲しいと感じる。子どもの読書活動の推進は、会津図書館だけの努力だけではどうにもならない。学校図書館が大事。現在週二回のサポートティーチャーと一緒にボランティア活動をしているが、学校司書が勧める本は子どもたちの心にとっても響いていると感じる。学校司書の配置が一番子どもの読書推進につながるものと思う。予算等あると思うが、地域の声として上げていけたらと思う。

委員：新聞で、県内の学校司書の数が減っているという記事を読んだ。視覚障がい者等サービスで録音CDの貸出がとても好評で、申し込みの際の職員の対応も良いと聞いている。CDのリクエストはできるのか。落語のCDを聞きたいという要望がある。

事務局：会津若松市出身の落語家・三遊亭兼好さんのCD等色々所蔵している。問い合わせいただければ、色々お勧めできるので、ぜひ利用していただきたい。

委員：利用者にお伝えしたい。

委員：とてもいいと思う企画は、調べる学習コンクール作品展と、会津図書館所蔵資料展だが、資料展が非常に良かったという話を聞いた。開催期間が4日なのは、短いのではないか。今回は行けなかったもので、また行う予定はあるのか。

事務局：資料展については、開館しながら、職員が会場で解説を行うため、4日間開催が限度だと思う。今まで行った資料展の中では、一番開催期間が長かった。今回は5周年記念事業として開催したもので、毎年行うのは難しいが、会津稽古堂開館10周年等折に触れて開催していきたいと考えている。

委員：来年は戊辰150年なので、ぜひ計画をしていただきたい。文化課主催の郷土研究奨励事業の審査員をやっているが、応募した子どもたちはインターネットからの引用が多く、本を調査したのは半分までいかないのではないかと感じる。審査が難しい。親の指導が多すぎると、子どもが書いたのか親が書いたのか分からない作品も見受けられる。子どもに図書の調べ方指導など、学校図書館の力が必要だ。新聞で学校司書の記事を読んだが、市内の小中学校には司書が配置されているのか。

事務局：市内の小中学校の司書はかなりの期間配置されていなかった。平成26年4月に学校司書を置くように努めなければならぬと学校図書館法の改正があった。現在、平成27年度より学校教育課所管のサポートティーチャー3名を4校（小学校2校、中学校2校）に短時間ではあるが、配置している。教育委員会としても学校司書の配置は重要な事だと考えている。校長会、PTA等から毎年司書配置の要望が上がっており、次年度に向けた予算確保、事業展開に努めている。

委員 : 毎年1回長期休館しているのか？

事務局 : 毎年7日間休館しており、本の所在を確認する蔵書点検を行っている。今年度は図書館システムの更新とパソコン等機器の総入れ替え作業を行った。機器は5年間リース料を払いながら運用するシステムである。前のシステムは平成23年3月より運用し、1年間延長したもので、機器のサポート期間が終了することもあり、今回入れ替えを行った。5、6年後にはまた今回のような休館が必要である。

委員 : 図書館の長期休館中、子どもたちの東公民館の利用が増えたと聞いた。公民館図書室の新刊を入れて欲しいという要望も聞こえてきたので、ぜひお願いしたい。

事務局 : 公民館図書室の図書は図書館職員が選書、装備をして配本している。出来るだけ多くの新刊を配本したいと思う。

委員 : 点検評価において評価Aについては、同感の部分が多い。これからも継続していただきたい。それから、會津稽古堂まつりの開催期間は1日のみだが、余裕があれば2日間にして欲しい。

事務局 : 會津稽古堂まつりは参加団体を含めて実行委員会を組織し、開催している。開催期間を土日の2日にした年もあったが、2日目の来場者が少なく、その反省を元に1日にしたと聞いているが、実行委員の方々にお伝えしたい。

委員 : ブックスタート事業の会場である保健センターは市内に3か所のみか。

事務局 : 市内にある保健センターは3か所のみである。4か月検診の際にブックスタート事業を行っている。

委員 : 会津図書館所蔵資料展は、1月の開催にも関わらず来場者が1日約360人あり、冬の時期にこれほどの集客があるのは素晴らしい。稽古堂にとっても図書館にとっても大きいし、何より皆さんの関心が高かったと思う。これほどの展示を行うのは大変で、ご苦労もあったと思う。次回開催の場合は冬ではなく、季節のいい時期にするとか、開催期間が短いのであれば早めの広報をするとか、これだけ好評で評価があったので、また是非開催して欲しい。

事務局 : 来場者は年配の方が多く想定より多くの方に来ていただいた。次に開催する時は、皆さんの意見を参考にしたい。

委員 : 地元の子どもにも見ていただくことも、地元を知るきっかけとなる。

書評カフェ、ビブリオバトルは良いイベントなので多くの人に来てもらいたい。ロコミ、フェイスブックで細かく集客してはどうか。また、イベントのポスター等の掲示を市内の書店やスーパーをお願いしてはどうか。市全体で読書への関心を高めていけば、書店には本好きの人が集まるので、集客に繋がるのではないか。

事務局 : 書店全店との連携については、ありがたい意見をいただいた。ぜひ次のイベント開催時の参考にしたい。

委員 : 「会津図書館を使った調べる学習コンクール」の審査委員をしているが、最初は理科研究の延長のような作品が多かったように思う。(開催が)3回目となり、実験をしたり、ものを作ったりと自発的に取り組む姿が見えてきた。今後もコンクールを続けて欲しい。3月末まで大熊町と合同で作品展を行っているが、是非、市内の多くの子どもたちに作品を見てもらいたい。

委員 : 長期休館の広報を市内の小中高等学校へ行っているが、子ども園や保育園、子育て支援センターへもお知らせを行ってはどうか。

事務局 : 次回からそのように進めたい。

委員 : ビブリオバトルの予選を観戦することはできるのか。

事務局 : 予選は学校の先生及び保護者等の関係者のみで行っているの、難しい。決戦を公開としているので一般の方も観戦できる。

### (3) 平成 29 年度当初予算（案）について

#### (4) 平成 29 年度事業実施計画（案）について

委員：書評カフェがブックカフェになった理由は何か。参加者のアンケートや意見を元に変更したのか。

事務局：利用者からの意見で変更した訳ではないが、発表者を集めるのが難しい。観覧の応募はあるが、発表は二の足を踏んでしまう方が多い。開催を中止するのではなく、投票なしのイベントで行いたいと考えたものである。

委員：観戦者からも出てみたい気持ちはあっても、手があがらなかったらとか、知っている人がいたらという気持ちがあるので、一度形を変えて開催してもいいのではないか。

委員：古文書講座の受講対象を高校生以上に行っているのは、18歳以上に選挙権があるためか。古文書講座は、会津地区でとても人気がある。福島県立博物館や会津史談会でも古文書講座を行っているが、毎回応募が多い。定員枠を超えたらどうしているのか。

事務局：会津という土地柄もあり、若い人にも歴史に親しんで欲しいという思いで土日開催とし、高校生でも参加できるようにしているが、今まで高校生の応募は無い。20代の参加者は数人いたが、60代以上の応募がほとんどである。

旧図書館の時代は、受講回数の上限を設けていなかったのだから、参加回数により、受講生のレベルに差が生じていたため、新館になってからは図書館での古文書講座は初級の方を対象に受講回数を制限してきた。中級以上の方は福島県立博物館などで受講していただきたいと考えている。講師の先生と相談して、応募者 30～40 名なので 10 名くらいの増は受け入れていただいている。

委員：補足として、外国語のおはなしのへやの開催時期が冬から 10 月に試験的に変更し開催する。6 月開催は今までど通りである。

短大生のおすすめ本の展示はとても人気があった。テーマを設けて、学校教員や様々な職種の人のおすすめ本を展示してはどうか。学校図書館に司書が常駐しなくても紹介本についてお知らせすることで、子どもたちの読書のきっかけとなる。「〇〇先生のおすすめ本」を展示するとか、面白くて、図書館利用も増えるのではないか。

事務局：次年度は読書週間に一般利用者のおすすめ本の展示を行う予定である。図書館利用者だけでなく、市職員、商店の方等にもおすすめ本について広く呼びかけていきたい。

また、学校図書館における「先生方おすすめ本紹介」等の展示については、助言等で働きかけたい。

委員：絵本の音楽会がとても良いイベントで、入場者が多く盛況だったと聞いているが、入場者は何人だったのか。

事務局：定員は 150 人だが、200 人を超える方に来ていただいた。始めてから 4 年目になるが、今後も続けていきたい。

委員：乳幼児向けのイベントについては、子育て支援センターにもチラシを配布していただけると広報できると思う。

事務局：保育所等だけでなく、子育て支援センター分として、チラシを配布していきたい。

### (5) 子ども読書活動推進計画 平成 28 年度実施報告について

委員：「学校図書館図書標準冊数」とは何か。

事務局：クラス数や児童生徒数によって、文部科学省が定めている学校蔵書の目標数。

委員：養護学校等への移動図書館の運行を冬期間行っていないが、この時期だからこそ図書の貸出が必要なのではないか。

事務局：学校だけでなく、全ての地域で 1・2 月は運行していない。

委員：運行しない理由は何か。移動図書館がある他市の図書館は、冬期間運行しないのか。

事務局：当館の移動図書館ステーションは住宅地が多く、降雪時は雪捨て場になっているため駐車できない。そのため、1、2月の運行は難しい。会津以外の降雪の少ない自治体図書館においては、冬期間も運行している。

委員：学校図書館では、内容が古く時代に合っていない図書も多い。処分できず、「学校図書館書標準冊数」を満たすためだけにある本が多いのではないか。学校図書館ボランティアだけでは図書の除籍は難しい。司書から先生方へ支援はどうなっているのか。

事務局：学校図書館については担当ではないが、台帳上除籍できない図書は書架から除いて、箱等へ入れることを助言している。

委員：図書を箱に入れるのは、学校図書館ボランティアでもできると思う。

事務局：学校図書館を支援する方や、ボランティアがいるときに、図書館奉仕員が学校へ行き一緒に活動できる状況を作っていきたい。

委員：「マカッセ」等の事業所は何か所あるのか。どういう施設なのか。

事務局：市内に約10か所あり、障がいのある子どもを預かる施設である。近隣市町村にも徐々に増えつつある。

委員：成人が通所している施設は、市内には15、16か所ある。

事務局：小規模の事業展開が増えており、放課後の子どもを預かる、またグループとして日中お預かりする所、サービス内容も多岐に渡ると聞いている。

## (6) その他

### ①平成28年度 第1回会津図書館協議会における提案検討について

「こどもフロアのソファについて、時間等を決めて一般利用させるなど有効活用してはどうか」

事務局：雑誌や新聞をこどもフロアで読んでいただいた場合、一般のコーナーにないとトラブルが起こりやすい等の理由から、現状の利用を維持したい。

委員：利用者が気持ちよく大人も子どもも使っていただけることが一番なので引き続き、サービスについて考えていただければ。

### ②窓口業務の委託の報告について

4月から4年間の新たな契約が決定。4年間の業務期間を、プロポーザル審査方法で地域要件を外して募集し、3社の応募があり昨年11月に審査会を行い、選考の結果、従来の事業所に決定した。

※ 今年の9月で2年の任期が終了することに対し、委員へお礼の言葉（館長）

※ 図書館協議会の委員名簿及び会議の内容を、新しい図書館ホームページに掲載することについて了解を得る。

## 4. 閉 会